

発行：学園都市大学古文書研究会
発行責任者：代表 中村和男



創立二周年記念講演 「古文書が語る江戸時代の庶民 —多摩の古文書を読む—」

法政大学大学院人間社会研究科 教授
馬場 憲一氏

八王子学園都市大学いちよう塾主催の無料公開講座「古文書が語る江戸時代の庶民—多摩の古文書を読む—」が、講師に法政大学大学院教授馬場憲一氏をお迎えして四月十九日、八王子市学園都市センター・イベントホールで開催されました。はじめに、昨今の古文書ブームをもたらした地方史研究の歩みと戦後の歴史学との関わりについて、戦後の民主主義導入による影響や中央から地方への歴史研究姿勢の変遷といった観点からの解説がありました。

次に本題にはいり、古文書に見る多摩の庶民の暮らしとして、①綱代家文書「年貢皆済状」天和二年五月作成 ②川幡家文書「宗門人別改帳」寛保三年九月作成 ③小室家文書「御当番名前帳」天保八年二月作成 ④高幡山金剛寺文書「本山拝借金返済延期願書」文政四年九月作成 ⑤小島家文書「小島日記」嘉永七年正月〜二月作成についての解説および解説が行われました。



への取り組みが弱いなどの指摘があり、最後に市民の主體的な「地域史」研究の発展によって伝統文化の継承が図られていくと締めくくりました。

第二回会員総会

公開講座に引き続き同ホールで午後三時十分より学園都市大学古文書研究会第二回会員総会が開かれ、三十名の会員が出席しました。



まず中村和男代表より活動報告、並びに2014年度予算の趣旨説明、そして松原良子幹事より2013年度会計報告がありました。次に新役員体制の発表および2014年度の活動大綱（新規活動としてはホームページの開設準備がある）が諮られ、全議題満場一致の拍手で承認されました。

その後、小林正博顧問より今後の目標（次なるステップは解説から解釈へ）ならびに来賓紹介があり、八王子市生涯学習スポーツ部長の天野克己氏より祝辞をいただきました。

貴会に寄せて

八王子市教育委員会
教育長 坂倉 仁

本市では基本構想・基本計画『八王子ビジョン2022』において、「市民がつながる生涯学習」を施策に掲げ、また『生涯学習プラン』では「市民と地域が主役の生涯学習」この街でまなぶ いかす つながる」を基本理念として生涯学習の振興に取り組んでおります。

学習意欲を持つ市民の皆さんに、身近で質の高い学習機会の提供を行う八王子学園都市大学いちよう塾は、今年開講10周年を迎えます。「学園都市大学古文書研究会」は、いちよう塾での古文書の解説を通じて出会った方々を中心に結成された研究会であり、会員の皆様が切磋琢磨しながら学習活動を継続されていることから心から敬意を表します。

会員の皆様の学習意欲、自発性、継続性は、本市の生涯学習の基本理念「まなぶ いかす つながる」のよき実践例であると教育行政に関わる者として喜ばしく思います。今後も貴会の学習活動と会員交流が充実したものといたしますよう祈念申し上げます、ご挨拶いたします。